

目 次

はしがき

序 章 グローバル化とグローバル・ガバナンス——1

- 1 地球を語る (1)
- 2 グローバル化 (2)
- 3 アナーキカル社会をどのように管理するか (4)
- 4 グローバル・ガバナンスの要請 (8)

第 I 部 グローバル化の基層

第 1 章 グローバル経済化——3つのトリレンマからのアプローチ——14

- 1 経済のグローバル化の影響にどのようにアプローチするか (14)
- 2 3つのトリレンマ (15)
- 3 3つのトリレンマからみた第二次グローバル化体制前 (18)
- 4 3つのトリレンマからみた第二次グローバル化体制 (21)
- 5 3つのトリレンマからみえる経済グローバル化の影響 (24)

第 2 章 グローバル政治化——断片化するサイバースペース——28

- 1 つながる世界への期待 (28)
- 2 ソーシャルメディアの衝撃 (30)
- 3 公共圏再考 (33)
- 4 双方向性を阻む断片化 (38)

第 3 章 グローバル社会化——「世界」の拡大と秩序の普遍性——42

- 1 グローバル空間の社会化をどう捉えるか (42)
- 2 地球規模の世界秩序 (43)
- 3 規範の創造主体、波及主体、受容主体 (46)
- 4 世界の構造的格差と規範の受容 (50)
- 5 多元的グローバル社会の出現? (52)

第4章 グローバル法秩序化——国際法における普遍性の現在——55

- 1 国際法における普遍性 (55)
- 2 国際刑事法と普遍性 (56)
- 3 冷戦後の普遍性Ⅰ——国際的刑事裁判所の創設 (58)
- 4 冷戦後の普遍性Ⅱ——国内裁判所の普遍的管轄権 (62)
- 5 冷戦後の国際社会と普遍性 (65)

第Ⅱ部 グローバル化と地域主義

第5章 NATOとEU——欧州の拡大——70

- 1 欧州安全保障を支える重層的構造 (70)
- 2 「共同体構築」に向けた教育的プロセスの取り組み (71)
- 3 拡大による「共同体構築」の試み (74)
- 4 拡大後の「共同体構築」の試み (78)

第6章 アラブ連盟(LAS)——中東・アラブ諸国の変容——82

- 1 中東におけるグローバル・ガヴァナンスの位相 (82)
- 2 アラブ連盟の起源・設計・影響 (83)
- 3 湾岸戦争(1991年)以降の政治環境の変化とアラブ連盟の改革 (88)
- 4 地域主義とグローバル・ガヴァナンス (91)

第7章 東南アジア諸国連合(ASEAN)——規範の制度化と課題——94

- 1 ASEANの地域主義の進展 (94)
- 2 ASEAN憲章に基づく新しい制度と機能 (96)
- 3 地域秩序構築におけるASEANの貢献 (97)
- 4 民主化や紛争に対するASEANの機能と課題 (101)

第8章 上海協力機構(SCO)——欧米との相克と協調——106

- 1 欧米に対抗する砦? (106)
- 2 「反米」声明後のSCO (108)
- 3 問題領域の拡大 (111)
- 4 アドバルーン的機構としてのSCO (114)

第9章 米州機構(OAS)——米州再編とラテンアメリカの地域主義——118

- 1 ラテンアメリカと米州関係の変容 (118)
- 2 冷戦と米州 (118)
- 3 2つの地域主義の活性化——米州地域とラテンメ

リカ地域 (120) 4 新世紀のドミノ理論? —左派勢力の伸
長と米国離れ (122) 5 反米による連帯の地域主義—ALBA
(124) 6 リオ・グループの復権—CELAC (125) 7 西
ラテンアメリカの「離米」の地域主義—太平洋同盟 (126) 8
OASの行方 (127)

第10章 アフリカ連合(AU)—オーナーシップのない紛争解決策—130

1 アフリカとグローバル・ガヴァナンス (130) 2 アフリカ統
一機構と地域紛争 (131) 3 AUとソマリア内戦 (133) 4
大国支配ではないグローバル・ガヴァナンスに向けて (137)

第Ⅲ部 トランスナショナル関係の新展開

第11章 グローバル市民社会—新たな世界政治空間の創出—144

1 第二次世界大戦後の世界政治と世界経済 (145) 2 戦後国
家の戦略と国家の揺らぎ (147) 3 脱国家化する個人とグロー
バル意識の生成 (148) 4 グローバル市民社会の展開 (152)
5 国家, 国際機構, 市民社会の新しい関係 (155)

第12章 「新しい戦争」と国家の破綻—159

1 戦争の性格変化と国家の破綻 (159) 2 「新しい戦争」とは
何か? (160) 3 国家の破綻と武力紛争 (163) 4 国家の破
綻とグローバル・ガヴァナンス (167) 5 グローバル・ガヴァナ
ンスと国家建設のジレンマ (169)

第13章 国際テロリズム—暴力のトランスナショナル化—173

1 テロリズムの現状 (173) 2 国際テロリズムからグローバ
ル・テロリズムへ (175) 3 ホームグロウン・テロのグローバル
性 (179) 4 テロ対策の進展と限界 (180) 5 日本の取り組
み (184)

第14章 ディアスポラ政治—187

1 国民国家の擬制性とディアスポラ (187) 2 失地回復主義

(イリデンティズム) (188) 3 ディアスポラ政治 (191)

第15章 新しいパブリック・ディプロマシーの系譜——201

- 1 グローバル・ガヴァナンスとパブリック・ディプロマシー (201)
- 2 パブリック・ディプロマシーの系譜 (203)
- 3 新しいパブリック・ディプロマシー (204)
- 4 対テロ戦略としてのパブリック・ディプロマシー (206)
- 5 脱国家中心的なパブリック・ディプロマシー (208)
- 6 ソフト・パワーを超えて (211)

第IV部 求められるグローバル・ガヴァナンス

第16章 人権ガヴァナンス——216

- 1 グローバル・ガヴァナンスと国連 (216)
- 2 国際人権レジームとグローバル人権ガヴァナンス (219)
- 3 地域的な人権レジームとグローバル人権ガヴァナンス (222)
- 4 グローバル人権ガヴァナンスを模索する非国家的行為主体 (226)
- 5 グローバル機構への転換を迫られる国連 (227)

第17章 兵器ガヴァナンス——230

- 1 ガヴァナンス、ルール、支持 (230)
- 2 大国主導による兵器ガヴァナンスの発展 (231)
- 3 冷戦終焉とレジームの増加 (233)
- 4 人道規範の強まり (234)
- 5 NPT体制の揺らぎ (237)
- 6 混迷する兵器ガヴァナンスの行方 (239)

第18章 地球環境ガヴァナンス——244

- 1 問題の所在——地球環境の危機とガヴァナンスの欠如 (244)
- 2 気候変動ガヴァナンスの現状と課題——その改善に向けて (247)
- 3 森林ガヴァナンスの現状と課題 (251)
- 4 グローバル・タックスの可能性 (254)
- 5 今後の展望——鍵となる資金調達 (255)

第19章 平和構築と移行期正義——258

- 1 問題の所在 (258)
- 2 グローバル・ガヴァナンスを推進す

- るリベラル・ピースビルディングの視点(259) 3 リベラル・ピースビルディングの視点からみえてくる平和構築の本質的課題(262) 4 平和構築の一部に位置づけられた移行期正義(263) 5 移行期正義をめぐるリベラル・ピースビルディングの課題(265) 6 平和構築になじみにくい移行期正義の本質(269)

第20章 戦争犯罪と国際法—————272

- 1 グローバル・ガヴァナンスと国際刑事司法(272) 2 グローバル・ガヴァナンスにおける国際犯罪への対応(274) 3 国際的な刑事裁判所(276) 4 法と秩序の変容と限界(278)

第21章 「人間の安全保障」の危機と「保護する責任」——286

- 1 「保護する責任」が提起する構造的課題(286) 2 「保護する責任」の国連体制における位置づけ(288) 3 グローバルな秩序の権力性と暴力性——方法と主体をめぐる課題(292) 4 「人間の安全保障」が照らし出す主権国家体制の限界(295)

終章 グローバル・ガヴァナンスへの視座—————299

- 1 直面する危機(299) 2 混迷するグローバル・ガヴァナンスへの視座(303)

索引